

○ 事業所税減免申請書の書き方

- 1 この申請書は、名古屋市市税条例により、事業所税の減免を受けようとする場合に、栄市税事務所長へ1通提出してください。

なお、申請書の提出期限は、事業所税の申告納付の期限と同様です。

- 2 ①の欄は、法人又は個人の別に次の事項を記載してください。

(1) 法人にあつては事業年度

(2) 個人にあつては個人に係る課税期間

- 3 ②の欄は、事業所税の申告書(第44号様式)の「資産割額」の欄の数値を記載してください。

- 4 ③の欄は、事業所税の申告書(第44号様式)の「従業者割額」の欄の数値を記載してください。

- 5 ④の欄は、「②」の欄の数値と「③」の欄の数値の合計を記載してください。

- 6 ⑤の欄は、この減免申請の対象となる事業所等の所在地を記載してください。

- 7 ⑥の欄は、この減免申請の対象となる事業所等に係る事業所床面積を記載してください。

- 8 ⑦の欄は、「①」の期間中にこの減免申請の対象となる事業所等に勤務する方に支払われた給与の総額を記載してください。

なお、減免申請の対象となる事業所等と、他の事業所等に併せて勤務する方については、その方に支払われた給与の総額を勤務の分量(勤務時間)によって按分し、減免申請の対象となる従業者給与総額を算定してください。

- 9 ⑧の欄は、減免を受けようとする理由をなるべく詳しく記載してください。

- 10 ⑨の欄は、減免理由を証明する書類を記入してください。

なお、記入した書類を併せて提出してください。

- この申請書に記載された情報は、ご本人の同意や法令に定められた場合を除いて、市税の課税や徴収の目的以外には利用しません。

- この申請書はボールペンで記載してください。なお、温度変化により無色になるインキを用いたボールペンは使用しないでください。